

令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	農村振興(中山間・鳥獣害対策)				予算施策コード	ns06	
担当部局名	農林水産部	農業振興局	農地整備課	評価責任者	課長 笠見 隆俊	連絡先	3980

1 施策の内容

施策の目標	<p>本県の約7割を占める中山間地域は、急傾斜地帯が多く生産条件が恵まれていないうえ、過疎・高齢化が進行しており、地域の主要産業である農業は、深刻で難しい状況にある。このため、それぞれの立地条件に応じた農業生産基盤を整備して農業の振興を図ると共に、直接支払制度を活用して農用地の確保に努めていく。</p> <p>また、野生鳥獣による農作物被害を、被害が急増する以前の安定した水準まで抑える。</p>
-------	---

これまでの取り組み	<p>これまで、県では中山間地域において持続的な農業生産活動ができるよう農用地の確保・保全と生活環境施設整備に重点的に取り組んできた。</p> <p>農道整備、ほ場整備などのハード事業の実施と併せて、直接支払制度のための集落協定締結を推進することにより、農地や水路の管理をするための集落での話し合いが活発に行われてきた。</p> <p>さらに、農村地域の給水施設、集落排水施設、集落道等の生活環境施設を整備することにより、利便性、快適性を確保し、集落の存続と担い手の維持に努めている。</p> <p>鳥獣害対策については、有害鳥獣捕獲を促進する「攻め」、侵入防止柵等を整備する「守り」、地域全体での取組みを推進する「地域体制づくり」を3本柱として各種施策を展開しており、特に、平成30年度からは、高度な知識・技術を有する「えひめ地域鳥獣管理専門員」を育成し、鳥獣管理専門員を核とした推進体制の構築に力を入れている。</p>
-----------	---

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	中山間地域における農用地の確保面積	B	野生鳥獣による農作物被害額							
選択理由	中山間地域における農業生産活動に必要な農用地の耕作放棄等を生じさせないよう各種事業を展開していることから、農用地面積の状況を成果指標に採用する。	選択理由	野生鳥獣による農業者等への被害状況を客観的に表すことができる							
算定方法	耕作及び作付面積統計(農林水産省)により算定。	算定方法	野生鳥獣による農作物被害額							
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	ストック	+	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	-

指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費 (決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	ha		%	百万円		%	千円					
2年度	33700	33397	99.1%	365	366	99.7%	3,066,984	1,939,079	168,731	959,174	3,000,467	121,115
3年度	33380	32790	98.2%	365	380	96.1%	2,719,496	1,762,000	224,019	733,477	2,688,300	102,850
4年度	33060	32177	97.3%	365	368	99.2%	2,841,471	1,854,087	242,609	744,775	2,667,291	98,526

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	中山間地域は、本県の約7割を占めており、この地域の農業を守らなければ、本県の農業は成り立たない。併せて、県土保全、水源のかん養といった多面的機能を通じて県民生活を守る役割を果たしている。また、農業者等の生産意欲を維持するため、年々深刻化している野生鳥獣による農作物等被害の軽減を図ることも必要である。しかし、過疎化、高齢化の進行による急激な活力の低下が見受けられ、現場での取組には限界があり、県として関与する必要性は高い。								
高い											
成果指標A		説明	県では、これまで様々な事業制度を導入、活用することで、中山間地域での農業生産活動が継続できるよう耕作放棄地の抑制や集落ぐるみでの営農活動を進め、農業の振興を図ってきた。また、そうした取組が中山間地域が持つ洪水防止、水源かん養、国土保全等の多面的機能の確保、維持に結びついている。中山間地域の地区の中には集落活動が活発になってきているところもあり、今後も地道で早急な取組が必要である。								
成果動向	横這い										
成果向上 余地	成果向上が可能										
成果指標B		説明	野生鳥獣による農作物等被害額は、3～4億円程度で横這い傾向にある。農業者等の生産意欲の減退等、指標に現れない被害もあり、被害が急増する以前の安定した水準まで農作物等被害を抑えるよう、継続して取り組む必要がある。								
成果動向	横這い										
成果向上 余地	成果向上が可能										
参考：構成事務事業の評価の平均値		成果動向	2.11	順調・向上			成果向上 余地	1.67	成果向上が可能		

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

予算施策名 ns06 農村振興（中山間・鳥獣害対策）

1 農村総合整備事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい					
指標種類1	指標名称1			単位	計画	33700	33380	33060	/	予算	事業費計	679,591	339,590	351,695	401,807	評価	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい				
成果	+	ストック	中山間地域における農用地の確保面積	ha	実績	33397	32790	32177			国費	322,432	166,782	177,947	212,400								
					達成率	99.10%	98.23%	97.33%			その他	40,560	62,515	53,290	56,950								
					計画	4	4	4			県費	316,599	110,293	120,458	132,457								
指標種類2	指標名称2			単位	計画	4	4	4			決算	事業費計	668,868	333,437	343,451					見直し 方向性	このまま継続		
活動	+	フロー	事業実施地区数	地区	実績	4	4	4				国費	319,682	166,782	175,802								
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他		34,658	56,527	50,902									
					計画					県費		314,528	110,128	116,747									
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役		3.4	2.7	2.4									
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人件費		23,005	16,335	14,331	方向1	このまま継続							
	S48		農村地域において、それぞれの立地条件に沿った農業の展開方向を探り、農業生産基盤、農村生活環境基盤等の整備を総合的に行ない、農業・農村の活性化を図るとともに、地域における定住の促進及び国土・環境の保全に資する。											方向2									
														方向3									

2 農業集落排水事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい					
指標種類1	指標名称1			単位	計画	61	61	61	/	予算	事業費計	131,460	46,987	39,825	15,125	評価	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい				
成果	+	ストック	長寿命化のため対策を講じた処理区数	処理区	実績	61	61	61			国費	110,165	36,600	33,250	12,100								
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他												
					計画	64	64	64			県費	21,295	10,387	6,575	3,025								
指標種類2	指標名称2			単位	計画	64	64	64			決算	事業費計	117,523	46,925	39,825					見直し 方向性	このまま継続		
成果	+	ストック	整備すべき農業集落排水施設数	処理区	実績	64	64	64				国費	99,015	36,550	33,250								
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他													
					計画					県費		18,508	10,375	6,575									
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役		1.8	1.8	0.6									
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人件費		12,179	10,890	3,583	方向1	このまま継続							
	S61		農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設(処理場、管路等)若しくはそれらの循環利用を目的とした施設の整備又は改築(機能強化)を行い、もって生産性の高い農業の実現と活力ある農村社会の形成及び循環型社会を構築する。											方向2									
														方向3									

3 中山間地域等直接支払交付金事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい					
指標種類1	指標名称1			単位	計画	16137	16137	16145	/	予算	事業費計	1,135,062	1,146,952	1,142,585	1,366,495	評価	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい				
成果	+	ストック	事業の実施農用地面積	ha	実績	10598	10627	10628			国費	754,081	763,828	759,626	914,729								
					達成率	65.68%	65.85%	65.83%			その他	150	1,500	1,100	0								
					計画	33700	33380	33060			県費	380,831	381,624	381,859	451,766								
指標種類2	指標名称2			単位	計画	33700	33380	33060			決算	事業費計	1,134,091	1,145,724	1,140,614					見直し 方向性	このまま継続		
成果	+	ストック	中山間地域における農用地の確保面積	ha	実績	33397	32790	32177				国費	753,933	763,511	758,798								
					達成率	99.10%	98.23%	97.33%		その他		15	1,338	1,325									
					計画	19	19	19		県費		380,143	380,875	380,491									
指標種類3	指標名称3			単位	計画	19	19	19		人役		2.1	2.1	2.1									
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人件費		14,209	12,705	12,540	方向1	このまま継続							
	H12		平地に比べ耕作条件の厳しい中山間地域において、中山間地域と平地との生産コスト差等を、交付金として農業者に直接交付し、農業生産活動の継続を支援することにより、耕作放棄地の発生防止や多面的機能を確保するための制度。											方向2									
														方向3									

本制度の取組みにより耕作放棄の防止が図られるとともに、共同活動の実践により集落機能の活性化にも貢献している。中山間地域の高齢化・人口減少等により取組面積の拡大が難しい。

法律に基づく制度であり、耕作放棄地の発生防止や多面的機能の確保において本制度は有効である。また、令和2年度からの第5期対策においては、農業者が安心して取り組めるよう制度改正が行われたことから、今後とも本制度を積極的に活用していく。

